

武士の政治が始まる ( ) 時代 # 1 名前 ( )

「武士が現れる」「源氏と平氏が戦う」 教科書106～109 資料集54～55、48～53

めあて

【考える】資料集48ページから53ページを見て、武士と貴族の色々なちがいを見つけましょう。

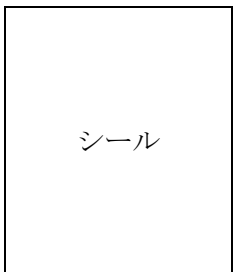
Blank space for student notes.

《大事ポイント！》

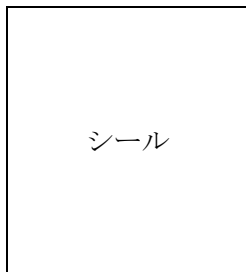
- ・ ( ) …争いごとの解決に武力が必要となり、武器をもった人たち。 武術の腕を買われ、天皇や貴族に雇われ手がらを立てることで地位を固めていった。
- ・ ( ) …武士が集まった組織。小さな武士団同士でいさかいがあると、勝った方は負けた方を吸収してどんどん大きくなっていく。大きな武士団として有名なのが、桓武天皇の血をひく ( ) と清和天皇の血をひく ( ) 。

平安時代の後期から江戸時代の終わりまで、武士が世の中の中心になります。さあ、歴史が大きく動き始めると！

《注目人物！平清盛（平氏）と源義経（源氏）！！》



平清盛（平氏）



源義経（源氏）

～平氏VS源氏 第1章「強いぞ平清盛」～

1159年、平清盛率いる平氏と源義朝（頼朝と義経の父）率いる源氏が戦います。勝者は平氏。源義朝は部下に裏切られ殺されてしまいます。頼朝の命も危なかったのですが…

教科書108ページの絵をチェック！

( ) を中心とする平氏一族は、朝廷の重要な地位を独占し、勢力をふるいました。清盛は武士で初めて ( ) (今でいう総理大臣) になり、おすめを天皇のきさきにして、政治に大きな影響力をもつようになりました。

あれ？同じようなパターンが過去にもあったような？？

【考える】平氏は、平家でなければ人ではないといばっていたそうですが、天皇や平氏以外の武士はどう思ったのでしょうか？

Blank space for student notes.

～平氏VS源氏 第2章「源頼朝・義経兄弟の逆襲」～

- 1180年 ①石橋山の戦い 勝者：( ) ②富士川の戦い 勝者：( )
- 1183年 ③倶利伽羅峠の戦い 勝者：( )
- 1184年～1185年 一の谷戦い、屋島の戦い、壇ノ浦の戦い 勝者：( )